

経営比較分析表（令和元年度決算）

愛知県豊橋市 豊橋市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	37	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感へ災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
377,429	63,131	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

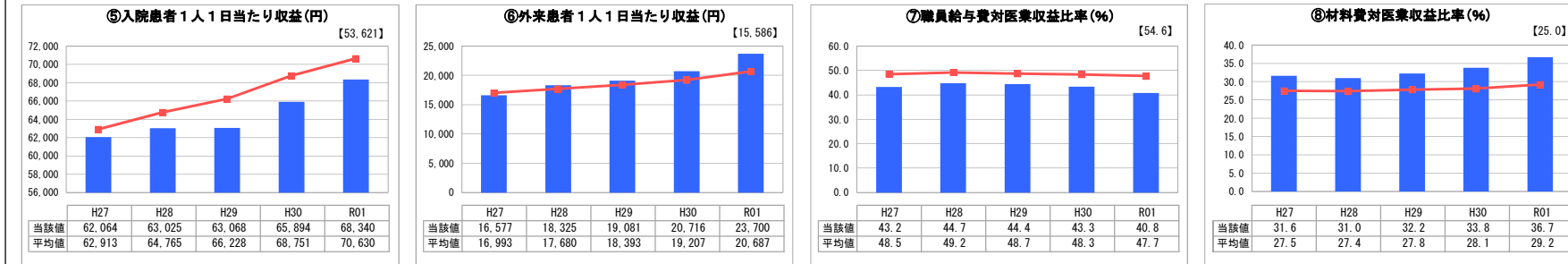
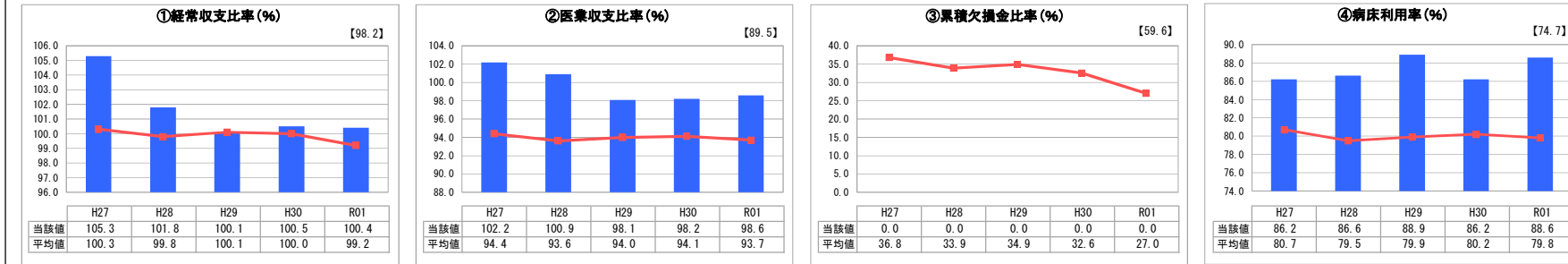
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
780	-	10
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	10	800
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
768	-	768

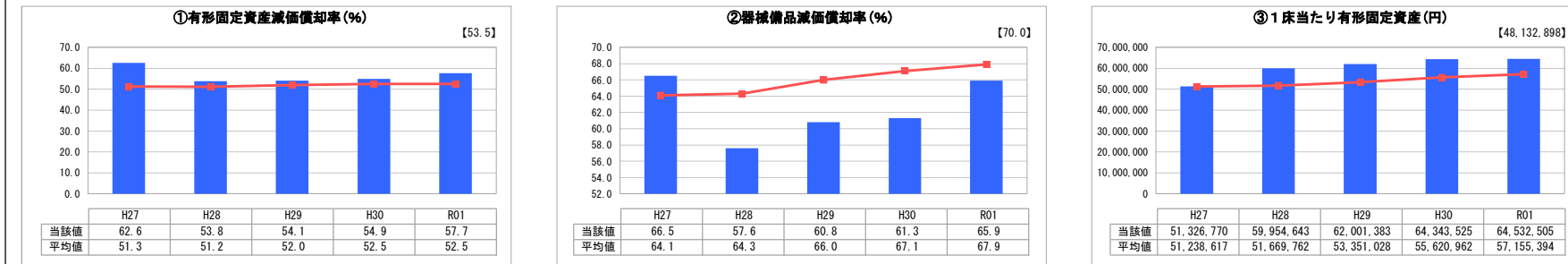
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成30年度	-	-

I 地域において担っている役割

救命救急センター・総合周産期母子医療センター等を有する東三河の中核病院として、地域完結型医療の一翼を担い、高度急性期及び急性期医療の機能を果たすことが本院の役割であると考えている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 手術センター棟の稼働に伴う手術件数の増加により
- ⑤入院患者1日あたりの収益が増加したこと、外来治療センターにおける患者数増及び高額医薬品の使用増に伴い⑥外来患者1日あたりの収益が増加したことによって、②医業収支比率が向上し、①経常収支比率についても平均値を上回り100%超を維持している。
- 高額な抗がん剤の使用増により材料費が増加し、⑧材料費対医業収益比率が平均値を上回っているため、ベンチマークシステムの更なる活用等により価格抑制に努める。
- ⑤入院患者1日あたりの収益は依然として平均値を下回っているため、効率的なベッドコントロールや地域連携による平均在院日数の減等により、収益増を図る。

2. 老朽化の状況について

本年度は、入退院支援センターの増室や院内照明のLED化等の整備を行った。

- ①有形固定資産減価償却率について経年増加しており平均値を上回っているものの、外壁改修等施設改修工事を控えており、老朽化に対しては計画的に対応していく予定である。
- ②器械備品減価償却率は平均値より低く、③1床当たり有形固定資産は、平均値を上回っている。これは、高度放射線棟や手術センター棟の建設、内部改修など、近年の積極的な設備投資によるものと考えている。

全体総括

- 入院及び外来患者1人1日当たりの収益が向上したこと等により、10年連続となる経常収支の黒字を計上できた。地域連携の推進を行い逆紹介率を上げる等、平均在院日数の短縮によって更なる入院収益の増加につなげたい。
- 今後も、改革プランに掲げる東三河地域の「中核病院」としての役割を着実に果たすため、更なる経営基盤の強化に向けた取り組みを行い、安定的かつ良質な医療を継続して提供できる体制の整備に努めていく。
- 平成28年度新公立病院改革プラン策定済。令和2年度第3次豊橋市民病院改革プラン策定予定。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。